

【参考例】

事業報告書

□●◎○株式会社
○×市●◎○町一丁目 1 - 1

(第 X X 期)

自 平成 27 年 Z 月 Z Z 日
至 平成 28 年 Y 月 YY 日

【当期の営業成績の事業概要】

平成 27 年の X X 期は、自動車メーカー各社の受注が堅調に推移し、また、前年度の円安に進行による原材料価格の上昇で材料費の増加も落ち着き、当社の出荷額が自動車の出荷台数が過去最高の台数になったことから、その好影響を受け、過去最高の売上高 x,xxxM (前期比 100M) を計上した。

その中にあっては、受注増加に対応すべく生産増加による人件費の増加や、外注加工費が増加による一般管理費の増加や、設備機器の更新や、新規設備投資による一括償却の実施を行ったものの、営業利益 xxM (前期比△50M)・経常利益 zzM (前期比△30M) と同様に過去最高益を記録した決算となった。

順調な売上を堅持するため、***の新規受注、***の売値価格アップの改定交渉、工場作業スペースの拡張による作業効率向上などが必要と考えられ、今後も受注が増加する傾向にあることから、今後は生産の増加に対応できる体制を構築していく。

「事業報告」は、「法人事業概要説明書」の税務署の報告ではなく、上場企業にある株主への報告のような、今期の概要説明の添付をお願いいたします。

なお、上記は例ですので、必ずこの内容に準じなければならないものではありません。

損益計算書や貸借対照表を説明する事業報告書をつけてください。

また、概略を記載した事業報告書がすでに存在していればわざわざ本書を作成する必要はありません！その内容を使用してください。

決算期に応じて、過去 2 期分が必要です！